

## 資料 2

### 基本構想（素案）・基本計画（素案）に対する特別委員会（平成30年4月20日）からの御意見の反映状況等

No.	区分	各委員の御意見	【資料1】基本構想(素案)・基本計画(素案)への反映状況等		
			反映箇所	備考	
1	基本構想(素案) Ⅲ.策定の背景	「Ⅲ.策定の背景」については、市の概要や特徴、人口推計、市を取り巻く社会潮流が書かれているが、このような項目が並ぶのであれば「策定の背景」とするよりも、「吹田市の現状」などと表現したほうが、市民にとってわかりやすくなるのではないかと。	今後、本市がまちづくりを進めるうえで把握しておくべき情報として、市の概要や特徴、人口推計、市を取り巻く社会潮流をまとめていることから、「Ⅲ.策定の背景」としてあります。	—	
2	基本構想(素案) Ⅲ.策定の背景 4.吹田市を取り巻く社会潮流	吹田市を取り巻く社会潮流の記述において、社会情勢を示すことは大事であると思うが、もう少し吹田市の将来像や現状にリンクさせるべきではないかと思ひ、社会潮流の記述に、吹田市の現状や個別の課題を加筆した（H30.4.20 特別委員会提出資料）。こつした視点を取り入れてもう一度検討していただきたい。	「4.吹田市を取り巻く社会潮流」については、吹田市の概要や特徴などとともに、基本構想「Ⅲ.策定の背景」として掲載しています。そのうえで、「Ⅳ.将来像」では、社会潮流（吹田市のおかれている状況）などの背景を前提として、今後の市のめざす方向性をまとめています。また、基本計画においては、社会潮流などを踏まえた各分野の課題を本市の状況も含めて記載しています。	—	

No.	区分	各委員の御意見	【資料1】基本構想(素案)・基本計画(素案)への反映状況等		備考
				反映箇所	
3	基本構想(素案) Ⅳ.吹田市の将来像 1.将来像	将来像の第3段落には、少子高齢化の進展や社会保障費の増大、かつ公共施設の老朽化という社会課題が書かれている。第4段落には、そうした課題を解決するため、市民と行政との協働が大事であると書かれているが、少し話が飛躍しすぎていると感じる。第4段落には、まず、行政が行うべき部分を明確にするべきと考えるため、第4段落に「効果的・効率的な行政執行や健全財政の維持」という文章を加筆した（H30.4.20 特別委員会提出資料）。	自治基本条例の考え方に基づき、行政が行うべき部分については、「効果的・効率的な行政執行や健全財政の維持」も含めて、第4段落の「市民と行政とがそれぞれの役割と責任のもと、地域の課題の解消に向けた取組を進めることが重要です。」の部分に含めて表現しています。	—	
4		市長はもとより職員が施策を実施するに当たって、あるいは市民と対話するに当たって、将来像のキャッチフレーズに込めた意味を共有、発信し続けられれば、行政に関わる市民にとっては、言葉だけの独り歩きではなく、市のめざす将来像を共有できるものになりうらと思う。今回、便宜上、キャッチフレーズを置くとしたら、このように将来像の本文で説明できれば良いと考え、例として案を提出した（H30.4.20 特別委員会提出資料）。私は、キャッチフレーズはあった方が便利だと思う。	これまでの審議会での審議を踏まえ、将来像のキャッチフレーズは掲載しないものとして考えています。キャッチフレーズについては、審議会において、その必要性から検討するべきであること、市民に誤解を与えないような文章で表現する方が良い、などの御議論をいただきました。そのうえで、将来像にキャッチフレーズを掲載する形ではなく、本市のめざすべき方向性を、将来像本文の最終段落において文章で丁寧に集約する形で、まとめています。	—	
5		私は、キャッチフレーズは不要であると思う。理由として、将来像を一文で表すことは難しいのではないかと、また、第3次総合計画の中間見直しの検討時に、キャッチフレーズを変えようとしていたこともある。例えば、首長が変わった場合、以前のキャッチフレーズは変えたいと考えるのではないかと。しかし、総合計画においては、将来を見据えた市のめざすまちの姿が将来像の本文にまとめられているので、キャッチフレーズをつけずとも、文章で表現すれば良いと思う。			

No.	区分	各委員の御意見	【資料1】基本構想(素案)・基本計画(素案)への反映状況等		備考
				反映箇所	
6	基本構想(素案) V.施策の大綱 取組の視点	「取組の視点」の記述内容からすると、このままでも良いとも思いますが、「計画推進における留意点」などの文言に変えたほうが、より市民にとってわかりやすくなるのではないかと。	すべての分野に共通する視点を「取組の視点」としてまとめています。	—	
7	基本計画(素案) II.基本計画推進のために 3.財政運営の基本方針	経常収支比率や財政調整基金などの数値目標を達成するために財政運営を行うことが目的ではなく、財政運営の分析を踏まえながら持続可能な市政を行うことが基本。「(1)財政運営の基本方針」本文において、「財政運営の分析を踏まえ持続可能な財政運営、もしくは市政運営を行う」とするべきではないかと。	住民福祉の向上を図るため様々な取組を進めるにあたっての指針が総合計画であり、総合計画で示す将来像の実現に向けて様々な取組を進めていくため、「財政運営の基本方針」を示しています。数値目標の考え方等がよりわかりやすくなるよう、御意見を踏まえ、文章を追加します。	P.27 II.基本計画推進のために 3.財政運営の基本方針 (2) 目標	
8		住民福祉の向上のために健全な財政運営を行っていく、ということを入るべき。その目的を明記しなければ、数値目標がひとり歩きすることが懸念される。			
9	【附属資料】 II.地域の特性 1.各地域の特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域別の地図データには、今年度、北大阪健康医療都市（健康都）に移転予定の市民病院などは載せなくても良いのか。</li> <li>地図には何をどのように載せればわかりやすくなるのかを考えて、修正を検討してもらいたい。</li> </ul>	御意見を踏まえ、より市民にとってわかりやすくなるよう、全体的に地図データを修正します。	P.80~P.90 附属資料 II.地域の特性 1.各地域の特性	

No.	区分	各委員の御意見	【資料1】基本構想(素案)・基本計画(素案)への反映状況等		備考
				反映箇所	
10	【附属資料】 Ⅱ.地域の特性	<p>・地区別の計画は、各個別計画に任せるとすることは十分理解はしているが、地域の課題、あるいは特性をしっかりと総合計画に書いて、ここから各分野の課題を読み取って、さらに個別計画に結んでいく、というのが理想的な流れだと思う。附属資料「Ⅱ.地域の特性」において、「2.さまざまなデータでみる地域」という形で、データを載せるから読む人は勝手に読んでください、と不親切な状況になっていると感じた。</p> <p>・「2.さまざまなデータでみる地域」については、地域に関する基礎的な情報ということで示されていると思う。データで示すのもよいが、きちんと文章に置き換えて、説明したほうが市民にとってわかりやすいのではないかと課題まで書ければ良いが、そこまできずとも、データ分析を文章に示してはどうか (H30.4.20 特別委員会提出資料)。</p>	<p>附属資料「Ⅱ.地域の特性」においては、「1.各地域の特性」で、地域別(6ブロック別)に情報を掲載するとともに、「2.さまざまなデータでみる地域」で、項目別に地域のデータを掲載しています。</p> <p>項目別に地域のデータを示すことで、地域間の比較がしやすくなるものと考えています。</p> <p>また、項目別のデータの分析等を、地域別のページで文章で記載することについて検討しましたが、データの内容によっては、6ブロックで面的に捉えて解説すると、市民の誤解を招きやすいものがあるため、分析等の文章を地域の特性として記載するのは困難と考えます。</p> <p>一方で、例えば緑被率など、面的に捉えて記載しやすい内容については、「みどり豊かな地域である」と記載するなど、地域別のページで文章を記載しているものもあります。</p>	—	
11		<p>「2.さまざまなデータでみる地域」については、文章を読めばわかるという意見もあるが、データとして示されている方がわかりやすい。</p>			
12		<p>「「地域の特性」に係る基礎資料集(案)」の1ページにある、「取組ごとの圏域設定の例」の表については、素案の附属資料に含めるべき。</p>		<p>御意見を踏まえ、「取組ごとの圏域設定の例」の表を、附属資料「Ⅱ.地域の特性」のページに追加します。</p>	<p>P.78 附属資料 Ⅱ.地域の特性</p>

No.	区分	各委員の御意見	【資料1】基本構想(素案)・基本計画(素案)への反映状況等		備考
				反映箇所	
13	その他	<p>前回、人権感覚から「子供」を漢字表記にするべきではないという意見があった。文部科学省の通達に沿って漢字表記にすることであったが、市としてどのように表記するかを選ぶべきである。庁内や審議会での検討結果は漢字表記で揃える、ということであったが、再度議論してもらいたい。</p>	<p>「子供」の表記については、人権意識から「子供」と漢字表記するのは好ましくないと感じるという御意見や、文部科学省の通達に沿って漢字表記にするべきなどという御意見があり、統一的な見解が得られていないのが現状であることから、公用文で原則使用する常用漢字を用いることとします。</p>	—	
14		<p>第4次総合計画の策定を進める中で、第3次総合計画の評価を行っているが、その評価を市ホームページなどに載せることができれば、現計画がどのようなものであったかということが、市民にもわかるようになるのではないかと。</p>	<p>第4次総合計画の策定に当たっては、現計画の進捗状況や成果について検証・評価を行った内容を「第4次総合計画課題検討集(案)」としてとりまとめており、今後ホームページなどでわかりやすく掲載できるよう、検討します。</p>	—	